

# 津波避難の基本的な行動について

平成 26 年 2 月に兵庫県が公表した南海トラフ巨大地震の津波浸水想定によると、明石市では海岸沿いなどで最高 2m の津波が予測され、最短で到達する時間は 115 分とされています。

浸水する範囲は防潮堤の外にとどまるとされていますが、実際の災害では、浸水区域外での浸水が発生する場合があります。

## 1 避難はより早く、より遠く（北方向へ）、より高く（高台に）

南海トラフ巨大地震における明石市の浸水想定区域は、海岸沿いなどの限られた範囲になっていますが、津波から命を守るためには、「より早く」「より遠く」「より高く」に避難することが必要です。

標高が低い地域では万一来て備えて、地震発生後 60 分までに「山陽電鉄よりも北へ」を一つの目安として、安全な場所へ避難してください。

地区	避難の目安
東部地区（明石小学校区）	人丸小、明石公園など
東部地区（明石小学校区を除く）	J R 線路より北側
西部地区	山陽電鉄線路より北側

## 2 津波一時避難ビルの指定とは

津波からの避難の大原則は、まず高台への避難となっておりますが災害時要援護者や避難対象区域外まで避難する時間がなくなった方や消防団等で災害活動に従事した者等が、緊急的に一時避難するための施設を「津波一時避難ビル」として指定し、被害の軽減を図ります。

## 3 津波避難の原則は「まず安全な場所へ」→次に避難所へ

津波避難の場合、避難場所は従来の避難所と考えずに①まずは高台（安全な場所）へ、②収まったら避難所等を基本に、日頃から安全な場所や避難経路についてまずは各自で、次に隣近所で、最後に地域でご確認をお願いします。

参考：「兵庫県津波浸水想定図：明石市」（平成 26 年 2 月）については、明石市のホームページに掲載しています。